

☆ リーダー紹介 ☆ その⑪

こんにちは！盛岡YMCAでスタッフとして皆さまから大変お世話になっております、しろくま(家村 知佳)です(・ェ・)♪今回は私からリーダーを紹介していきたいと思っております！



コンタクト改めメニコンとは僕のことです！

私が紹介するのは、こう見えてもまだ未成年！聞いてビックリの18歳☆澤野 俊理(さわの しゅんり)ことコンタクトリーダー！いえ、最近「メニコン」に改名を試みているところでした。ということで、「メニコン」を浸透させるためにメニコンリーダーと呼んでいきます！メニコンが大好きなものといえば…カラオケ♪歌に限らず音楽がとにかく好きで、バンドもやっています。なんだか仙台でライブをやってきたとか何とか。。。詳細は直接本人に聞いてみてください！



そんなメニコンは高校生からリーダーとして主に野外活動やキャンプ、サッカースクールに参加してくれています。元々盛岡YMCAの野外活動(アドベンチャークラブ)メンバーで、数年前まではメンバーとして様々な活動に参加していました。話によると小学生のころは口が達者で頑固なちょっとひねくれ者だったそう…。現在、昔のメニコンを知る方々は「だいぶ落ち着いた」と感心するほど彼は成長したようです☆若いとはいえ、今ではとても頼りになるリーダーの一人です!!やはりメンバーだった経験は子どもたちの気持ちをくみ取る上でも彼の強みになっていると思います。実際に活動では子どもたちのことを真剣に考え、懸命に取り組んでくれています。リーダーとして経験を積む毎に何かを吸収し、日々進化し続けるメニコン☆進化とともにまた改名するのでしょうか???今度は「アキュビュー」?「ボッシュロム」?いろいろな面でこれからが楽しみです♪

好きな調味料はケチャップ!!猫を見つけると連れて帰りたくなっちゃうほどの猫好き♥これまでに何匹もの捨て猫ちゃんを救ってきたそうです。そんなメニコンをこれからも宜しくお願ひ致しますっ(>ω<*)

盛岡YMCA 家村 知佳(しろくまりーダー)



ぶらいむ・たいむ向中野校の子どもたちが放課後に校庭で思い切り遊ぶ！学校が終わればぶらいむ・たいむの仲間たちと楽しい時間を過ごしています。あの夕日に向かってダーツシュュー!!

(向中野小学校校庭にて)

表紙の写真より

7月・8月の予定

- ★7月7日(日) サマーキャンプ説明会 16時～17時30分 (於：アイーナ6階団体活動室3)
 - ★7月14日(日)～15日(月・祝) わんぱくキャンプ (於：都南つどいの森)
 - ★7月21日(日) ファミリーサッカーフェスティバル (於：岩手県立大学サッカーグラウンド)
 - ★7月21日(日) サマーキャンプ説明会 18時～19時30分 (於：アイーナ6階団体活動室3)
 - ★7月31日(水)～8月3日(土) サッカーキャンプ (於：八幡平いこいの村岩手)
 - ★8月6日(火)～11日(日) 山のキャンプ (於：外山森林公園)
 - ★8月9日(金)～8日(木) 湖畔のキャンプ (於：秋田県 思い出の湯分校)
 - ★8月25日(日) 8月アドベンチャー「小川で遊ぼう！」 (於：矢巾町立自然公園)
- ～休館のお知らせ～
○8月12日(月)～15日(木) 盛岡YMCA休館

6月アドベンチャー テントに泊まろう！

6月22日(土)～23日(日)は、1泊2日のテント体験キャンプが行われました。行き先は八幡平市の岩手県民の森キャンプ場です！今回の参加者は子どもが21名、リーダーが17名となかなかの賑わいよう…!!盛岡も梅雨入りが報告され、ずっと天気心配をしていましたが2日間ともお日さまが味方についてくれました！

1日はまず今晚の寝床確保！テント作りからです！どのグループも素晴らしい出来☆午後1番には「ゲームマスターG」と名乗る謎の人物が出すミッションに挑み、夕飯作りに必要なアイテムをゲットできました！それらを使い夕飯作りにとりかかります。メニューはカレーライス！サラダとスープ付き。薪割り、火付け、食材の下準備は慣れない作業ですが、子どもたちはキラキラ輝いた真剣な目で取り組んでくれました。もちろんその味は絶品でした！ナイトプログラムではキャンプ定番！キャンプファイヤーで大騒ぎです！

2日はみんなで手つなぎ鬼から始まり、テントの片付け、昼食準備などの作業もみんなで協力して取り組みました。そして午後はお待ちかねのフリータイムで、山へ探検に行ったり、水遊びでリーダーを追いかけ回すなどひたすらに遊びました。楽しいと時間の経過が早い…。そんなことを実感するようなキャンプでした。 YMCA 家村



↑ テント完成☆ 自分たちで作ったテントの前でテントポーズ(^o^)?

感謝

2013年年度 順不同・敬称略

●三十周年記念史賛助会員

長岡正彦、竹内一真、水野雄二、田村浩之、伊藤真一郎、岩崎スエ、雲丹谷三千代、今松桂子、森山日菜乃、南原良哉、(株)盛岡ユニホーム、盛岡南ドライブイン、井上修三、井上優子、宮崎幸雄、濱塚秋二、阿部靖、倉石昇、岩手トヨペット盛岡支店、神谷幸男、水田賢次、諏訪治男、名古屋恒彦、山本常雄、吉崎陽、工藤泰、中原真澄、加藤明宏、伊藤克見、小林茂元、和歌山YMCA、北田アユ子、角谷晋次、大関靖二、三田弘子、伊藤洋子、伊藤光、伊藤忠嗣、伊藤雄基、吉田ひろ子、石崎一之、石崎稜、朴正浩、山本英志、花田瞳、千葉代子、佐藤翔、吉本貞一郎、木下恵合子、及川忠人、及川茂夫、大和田浩一、菊池崇江、小畑孝子、朴正浩、飯島隆輔

●東日本大震災被災地支援募金・献品

南原良哉、林間つきみ野教会、味噌菓子、飯詰子、日本アイティストユニオン、茨城YMCA、宮古市魚菜市場青年部、菊池崇江

●維持会費

花田瞳、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田二郎、佐藤翔

●寄付金

花田瞳、佐藤翔

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的传统に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2013年7月号 今春リニューアル開校★ぷらいむ・たいむ向中野校



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: http://www.ymcajapan.org/morioka/

『偉大であり、誇りに思えるYMCA』

盛岡YMCA前潟校学童指保育導員 三田 庸平 (枝豆リーダー)

僕が盛岡YMCAに携わって6年が経ちました。子どもの頃YMCAのメンバーだった時から数えると約12年お世話になっています。

子どもの頃は、サッカー・野外活動・キャンプ・水泳のプログラムに通ってました。サッカーは兄に連れられて行っていたが、仲間とボールを追いかけて楽しみながら出来る場所でした。水泳は泳ぎが苦手だったのですが、水遊びやゲームなど楽しいことばかりでいつの間にか泳げるようになり、リラックスできる場所でありました。野外活動やキャンプは大きな広場で遊んだり、料理をしたりして自由気ままに遊びながら集団での活動の楽しさを伝えていただいた活動でした。このように様々な活動を通して引込み思案だった僕が多くの子どもやリーダーと触れ合い、楽しみながら自然と笑顔にさせてもらっていました。また、どんな状況でも乗り越える為の力までも与えてもらいました。

そして、大学へ進み1年生の時から学生ボランティアリーダーとして再び盛岡YMCAにお世話になることになりました。学童保育・サッカー・水泳・野外活動・キャンプに参加する中で多くの発見や経験を子ども達と一緒にできる楽しさや面白さを知りました。今でも楽しさや面白さを常に感じながら活動出来ていること、そして僕自身が子どもの頃に感じた事を子ども達に伝えるチャンスを与えてくれたことに感謝しています。そして6年間通してスタッフやリーダーの仲間たちとの出会いにより僕を人間として大きく成長させていただきました。

僕にとって盛岡YMCAは本当に偉大な場所であり、誇りに思える場所でもあります。これからもずっと盛岡YMCAが多くの人々の偉大な場所であり、誇りに思える場所となるように、僕も恩を忘れず活動していきたいと思ひます。



*** 毎日にぎやか！ぷらいむ・たいむ向中野校 ***

盛岡YMCAぷらいむ・たいむ向中野校は、昨年度から向中野小学校の近隣で開校し、今年度4月からは盛岡市の委託を受けて、向中野校の敷地内に場所を移すこととなりました。昨年度は23名、今年度は現在67名の向中野小学校の子ども達が放課後の時間をぷらいむ・たいむ向中野校で過ごしています。1年生が28名、2年生が22名、3年生が10名、4年生6名、6年生が1名になります。約8割が1、2年生という事もあり普段の学童内は活気に満ち溢れ、まさに元気のかたまりの場所となっています。

施設内では、宿題等の勉強をしたり、おやつを食べたり、読書をしたり、プレイルームで思い切り体を動かして遊んだりと思い思いに過ごしています。また、天気の良い日は、学校の校庭に出て思い切り外遊びをします。かけっこ、サッカー、野球、遊具遊びと様々です。さらに、週に一度は向中野小学校の体育館を借りて遊んだり、周りの環境に恵まれ、広々と目いっぱい遊ぶ事が出来ています。

初めのうちは学校と学童の両方に慣れるのに大変で、楽しく過ごしながらもどこか不安そうだった1年生の子達も、新施設での開校から約3か月が経った今では、元気いっぱい遊び、学校で教わったルールや出来事等を話してくれます。

また、学童内で異年齢の関わりも多くみられ、年上の子は年下の子から、年下の子は年上の子から、感じる事や学ぶ事が沢山あるようです。そういった関わり一つ一つを大切に、一人ひとりのこれからのとって、人との関わりやぷらいむ・たいむでの体験がより良いものになる様、努めています。そして、何よりぷらいむ・たいむが子ども達の居場所となる様、共に大切な時間を過ごしていきたいと思ひます。

盛岡YMCA ぷらいむ・たいむ向中野校
館長 小川 嘉文



元気で元気な子どもたちもいっぱい！
CANA YMC
向中野セ
ンMぎ
外観(左)とプレ
イルーム(下)

プレイルームで的一幕。どうやらこんなにかわらなくなれるんだ～。



よく遊び、よく学べ☆
勉強をしている様子です。宿題でわからない所は、周りの子やリーダーと一緒に考えながら解いていきます。



← 学童のおもちゃで、大きなタワーを作りました。スカイツリーに勝てる日も近い！？

お勉強中に素敵な顔を発見！一枚頂きました♪ ↓



わんぱくキャンプのココがおもしろい!!

今年も盛岡YMCAのサマーキャンプシーズンがそろそろ近づいてきました！そこでキャンプ第一段となる「わんぱくキャンプ」にこれまで参加したことのある子どもたちやリーダーからわんぱくキャンプの醍醐味や楽しかった思い出を聞いてみました！「楽しそうだな☆」と思ったら今年はぜひ一緒に行きましょう♪

Q. 1番心に残っている思い出は？
モスラリーダー
みんなで料理をしたこと！自分たちで薪を割って、火もつけて、すごく楽しかった！



ハードルリーダー
セミが成虫になる瞬間を見れたこと！みんなでご飯を作ったこと！ナイトハイクの後みんなで空にお願い事をしたこと！あのときの金色の松ぼっくりは今も持っているよー☆

コンタクトリーダー
ナイトプログラムのナイトハイクで、なかなか「金の松ぼっくり」が見つからず苦戦したこと。あと、炊事が楽しかった！



船木 陽帆(あきほ)ちゃん：仁王小3年
フリータイムに水鉄砲で遊んだこと！（みんなびしょ濡れになって遊びました）お風呂に行く道で車がとて揺れたこと！今年もナイトプログラムが楽しみ♪

阿部 実結(みゆう)ちゃん：
仁王小4年
広場で鬼ごっこをしたこと！



↑ 昨年のわんぱくキャンプの様子。みんなで池には入り、巨大アメンボやコイを追いかけました！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 6月報告書

「♪荒れ地に花を咲かせましょう♪」

「鉾ヶ崎のこの荒れた風景を見るとねえ…」
若いころから鉾ヶ崎に住み、云十年。津波が襲うまでは喜びも悲しみも、この鉾ヶ崎の地で過ごされた、お母さんのつぶやくような一言です。

この鉾ヶ崎は宮古の中心から近くで、昭和30年代はサンマ水揚げ日本一でもあり、元気な活気ある港町でした。そんな街のお母さんの寂しげな一言を吹き飛ばすため、宮古に住む若者の手で笑顔を取り戻す。これが「鉾ヶ崎 花プロジェクト」です。

植えるひまわりの種は横浜の小学生や中学生からの贈り物です。苗になるまで地元ボランティアの方がご自分の部屋、箱の中で(まさに「箱入り娘たち」)育てていただきました。

植え付けはいつも活動に参加してくれる岩手大学の精鋭たち、宮古商業高校や宮古水産高校の生徒のみなさん、東京からの山岳連盟のみなさんです。そして地元のみなさんが見るに見かねて(!?)飛び入りで手伝っていただきました。

植え付けまでは被災した土地ならではの思いもかけない障害がありました。しかし植付けが終わった今、日に日に背を伸ばす苗がとてかわいく頼もしく感じられます。運動は広がり、宮古市から寄贈されたマリーゴールドやサルビア、ペチュニアの花も仲間入りしています。

地元の若者たちとみなさんの間に交流が生まれました。きれいな花が咲き並ぶのも楽しみなのですが、こうした地元の元気な若者と近隣の方との笑顔や交流が、何よりも喜ばしい成果ではないでしょうか。

最近宮古を「被災地」としてあまり意識しすぎないようにになりました。宮古は被災した地には違いありませんし、悲しみのなかにいらっしゃる方もたくさんおられます。今後もその方たちとの歩み続けることには決して変わりありません。ただこの「宮古」を、いきいきと若者が先頭に立つ「元気の街」にするためにはほかに次の大切にするものがあるような気がします。「宮古は笑顔の町」、YMCAの活動にはいつも笑顔がある！その第一歩がみんなです。

← 宮古での活動実績 (5月末日のべ人数)

- ☆受益者数 59, 239人
- ☆ボランティア数 19, 513人

宮古ボランティアセンター長 木田泰之



← しがらみが出てくる畑



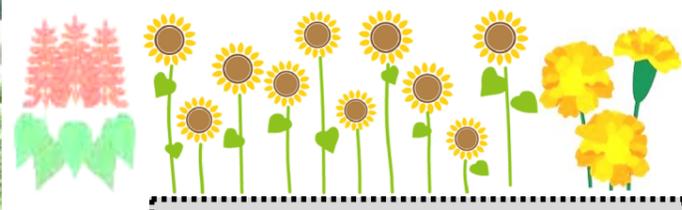
← 1本1本丁寧に。



← 地元のお母さんも飛び入り参加！



← かせいだ(働いた)後のおにぎりはうまい!



← 1つ目の畑完成☆